

いる。今後も技術普及を進めカロライナツユクサによる被害を防止していく。また、カロライナツユクサの発生地域内での拡散を防止するための畦畔管理技術や未発生地域での注意喚起等を引き続き進めて行く必要がある。

5. 謝辞

技術開発にあたり、カロライナツユクサの生態解明や薬剤選定にご尽力い

ただいた宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センターの松尾光弘講師、現地での発生実態調査や防除試験にあたりご協力いただいた大分県内6振興局の普通作物担当普及指導員の皆様、大豆生産者の皆様に深く感謝の意を表します。また、本稿は農林水産省委託プロジェクト研究「生産現場強化のための研究開発-多収阻害要因の診断法および対策技術の開発」の一環として実施した内容を基に構成しました。

引用文献

- 石丸知道 2016. 大豆雑草カロライナツユクサの生態と茎葉処理剤の効果. 九州の雑草 46, 15-17.
- 河野礼紀ら 2020. 大分県の大豆作における雑草の発生実態. 雑草研究 65, 31-40.
- Matsuo, M. *et al.*, 2016. Seed heteromorphism in carolina dayflower (*Commelina caroliniana* Walter). *Weed Biol Manage* 16, 169-176.
- 松尾光弘ら 2019. カロライナツユクサ1個体の生育および種子生産とその後の発生動態. 九州の雑草 49, 6-9.

統計データから

農業・食料関連産業の国内生産額は全経済活動の1割

令和3年3月26日公表された令和元年農業・食料関連産業の経済計算（概算）のよると、2019年における農業・食料関連産業の国内生産額（概算値）は、118兆4,764億円で、これは全経済活動（内閣府「国民経済計算」における経済活動別の産出額の合計）の11.3%に当たる。ここでの国内生産額は、生産された財及びサービスを生産者が出荷・提供した時点の価格（消費税を含む生産者価格）で評価したものである。

表-1に示すように、農林漁業は12兆4,554億円で、構成比では農業・食料関連産業の10.5%を占めており、食品製造業は37兆8,671億円（32.0%）、関連流通業は34兆6,582

億円（29.3%）、外食産業は28兆9,485億円（24.4%）となっている。なお、食品製造業・関連流通業・外食産業を合わせた食品産業全体では101兆4,738億円（85.6%）となっている。

農業部門における国内生産額（表-2）は、1兆7,543億円（9.1%）で、そのうち、野菜が2,152億円（農業部門の20%）、米が1,823億円（16.9%）、肉用牛が1,197億円（11.1%）、酪農が1,055億円（9.8%）、農業サービス（稲作共同育苗、青果物共同選果等の売上高等）が937億円となっている。（K. O）

表-1 農業・食料関連産業の国内生産額^{注1)}

区分	国内生産額	構成比
全経済活動	1,049,115	
農業・食料関連産業	118,476	100
農林漁業	12,455	10.5
農業	10,754	9.1
林業（特用林産物）	221.6	0.2
漁業	1,480	1.2
関連製造業	39,971	33.7
食品製造業	37,867	32.0
資材供給産業	2,104	1.8
関連投資	2,443	2.1
関連流通業	34,658	29.3
外食産業	28,949	24.4
食品産業 ^{注2)}	101,474	85.6

注1) 国内生産額の単位：10億円

注2) 食品製造業・関連流通業・外食産業の合計

表-2 農業部門における国内生産額

区分	国内生産額	構成比
農業	10,754	100
耕種	6,023	56.0
米	1,813	16.9
麦類	55	0.5
いも類	209	1.9
豆類	79	0.7
野菜	2,152	20.0
果実	861	8.0
その他の食用耕種	150	1.4
非食用耕種	703	6.5
畜産	3,794	35.3
酪農	1,055	9.8
肉用牛	1,197	11.1
豚	611	5.7
鶏卵	479	4.4
肉鶏	369	3.4
その他の畜産	85	0.8
農業サービス	937	8.7